

様式7

「学校」部門

河川基金助成事業

「各教科等への思川に関する河川教育の導入」 【河川教育とりくみ支援】 報告書

助成番号：2019 - 7210 - 010

栃木県小山市立小山第一小学校

校長 氏名 池澤 満

2019 年度

助成番号	助成事業名				学校名	
2019-7210-010	各教科等への思川に関する河川教育の導入				小山市立小山第一小学校	
校長名	池澤 満	担当教諭名		椿 和子		
過去の助成実績	なし あり [助成番号: 助成事業名:]					
キーワード	「思川の歴史」「サケの孵化と放流」「水害から身を守る」					
対象児童生徒	高校生(年 名) 中学生(年 名) 小学生(5年 47名、6年 49名)					
対象河川名	思川	活動場所の指定状況		なし 子どもの水辺 水辺の楽校		
年間学習計画(シラバス)における本助成事業の位置づけ						
テーマ	思川とともに					
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・アユやサケなどの魚類浄水場での取水など、思川がもたらす自然の恵みについて関心を高めるとともに実感を持った理解を目指す。 ・水害の危険を理解・予測し、自らの安全を確保する行動をとったり、災害時に他の人や地域の安全に役立つことができたりするような態度・実践力の育成を目指す。 					
評価の観点	<p>(知識及び技能) アユやサケなどの魚類浄水場での取水など、思川がもたらす自然の恵みについて理解し、多くの人がそれらを守っていることが分かる。</p> <p>(思考力、判断力、表現力等) 自然災害の危険性を理解・予測し、自らの安全を確保する行動をとったり、災害時に他の人や地域の安全に役立つことができたりするような態度・実践力を養う。</p> <p>(学びに向かう力) 自分から積極的に思川を知り、調べようと取り組んでいる。</p>					
活動時期	2学期 9月 11月 12月 3学期 1月 2月					
活動形態	総合的な学習の時間	各教科学習(社会)	各教科学習(理科)	学校行事	その他(特別活動)	合計
上記の活動時間数	8時間・2時間	2時間・0時間	10時間・2時間	1時間・1時間	1時間・1時間	22時間・6時間
支援者等(複数記入可)						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関(博物館、資料館)等		関係団体(漁協、農協)等		企業	その他
支援概要	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業組合の方を講師にサケの卵の育て方を教えていただいた。 下都賀漁業協同組合 木村孝さん ・マイタイムライン作成時に必要な基本的な知識を教えていただいた。 消防本部危機管理課 齋藤さん 					
活動成果	発表形態			成果作品		
	学級単位	学年単位	学校全体	カルタ(作成途中で休業となる)		
安全対策に関する課題						
・川でのサケの稚魚の放流の際、事前に当日の川の上流の天気予報の確認をしていなかった。						
活動の成果と今後の課題・展開						
【5年】						
<ul style="list-style-type: none"> ・下都賀漁協の方からサケの育て方や習性について教えてもらい、育てる際の注意点などを知ることができた。 ・鮭を卵から孵化させ、放流まで育てることにより、生命尊重の精神が培われた。 ・自分たちが住むまちの明治時代から現代までの古地図を見比べて、まちの様子の変化だけでなく、川の流れが変わっていることや橋が架けられていることを知り、治水が進んでいることが分かった。 ・深い学びにつなげるために、異学年とも連携して鮭の飼育をする必要がある。 						
【6年】						
・ハザードマップを活用することで、住んでいる土地の特徴について理解することができた。						
活動内容と実施時期(主な活動を2つのみ記入)						
データベースに登録する活動分野	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期	
	学校部門	調査研究	教育研究	河川環境教育	11~2月	
			教育研究	防災教育	9・12月	

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2019-7210-010	各教科等への思川に関する河川教育の導入	小山市立小山第一小学校 池澤 満



フィールド：小山市立小山第一小学校

日付：12月11日

コメント：下都賀漁協の方から鮭の育て方を教えていただく。孵化するまでの条件や餌のあげ方など、育てる際に注意することを細かく説明していただく。児童たちは命を預かったことを再確認する。



フィールド：小山市立小山第一小学校

日付：12月12日

コメント：卵をいただいてから鮭がすぐに孵化。水を換え、水温を調整して、大切に育て始める。5年生だけでなく、いろいろな学年の児童が観察をしていた。



フィールド：小山市立小山第一小学校

日付：1月30日

コメント：すくすくと成長し、元気に泳いでいる。



フィールド：思川河川敷

日付：2月10日

コメント：5年生と4年生が学校近くを流れる思川の河川敷へ移動し、下都賀漁業協同組合の方々から放流の際の注意点などの説明を受けた。漁協の方から一日に約80kmを泳いでいかないといけないことを教えてもらった。



フィールド：思川河川敷

日付：2月10日

コメント：今まで育てた鮭の旅立ち。児童みんなが「いってらっしゃい」と声を出し、鮭が下流に泳いでいく姿を見送っていた。



フィールド：小山第一小学校

日付：12月24日

コメント：自分たちでハザードマップを見て、自分の住んでいる場所がどの程度水害の危険があるのかを知ることができた。

注) 写真は5~6枚程度 (枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。)

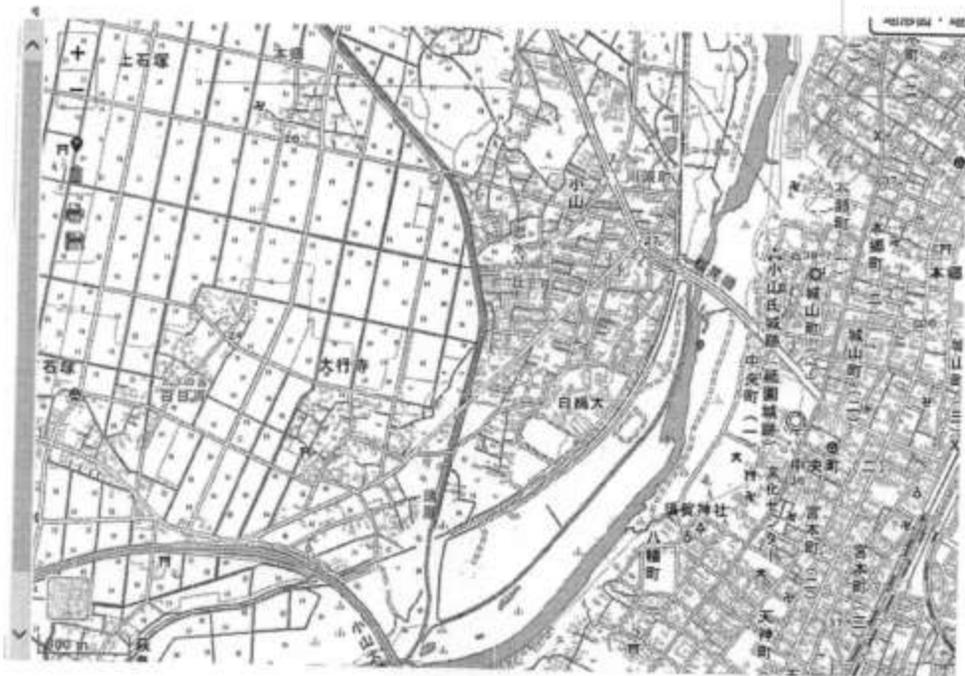
研修報告書

助成番号	2019-7210-010	学校名	小山市立小山第一小学校
助成事業名	各教科等への思川に関する河川教育の導入【河川教育とりくみ支援】		
日付	令和2年1月10日	時間	13:30 ~ 16:30
場所(会場)	中央公民館	主催者名	小山市教育委員会
研修・講演名	防災教育セミナー		
参加者名	担当：防火・防災	氏名	高橋 和美
参加目標	<p>本校は思川の土手沿いに位置しており、来年度から河川教育に取り組みたいと考えている。</p> <p>学区内にはこの4年間に2回の水害を経験している家庭もあり、水害がもたらす被害について重く受け止めている。そこで、防災教育セミナーに参加し、来年度以降の防災教育及び河川教育に生かしたいと思い、参加を決めた。</p> <p>また、防災教育を中心になって進めておられる他校の先生方と交流し、より多くの情報を得たいと思う。</p>		
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力育成に向けた具体策について班別協議を行い、発表する。 ・専門家の方による「自ら判断し、主体的に生き抜く力の育成を目指して」の講話がある。 <p>講師：常葉大学大学院環境防災研究科 教授 重川 希志依 先生</p>		
感想	<p>これまでの防災教育セミナーについての報告があり、「防災教育プログラム」の活用の仕方を知ることができた。</p> <p>特に、講話の中での「防災は100%日頃の備え」という言葉が印象的だった。いざという時に落ち着いて最善の行動を選択できるよう、児童の自己防災力の向上に努めていきたいと思った。</p> <p>今後の本校の防災教育及び河川教育に生かしていきたい。</p>		

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2019-7210-010	各教科等への思川に関する河川教育の導入	小山市立小山第一小学校 校長 池澤 満

主な実施箇所 利根川水系思川(栃木県小山市宮本町付近)

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。
 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。
 (縮尺は1/50万～1/100万程度)



助成事業の主な実施箇所